

3 ワイン製造業

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者の集計結果を、ワイン製造業として取りまとめたもの。

(1) 国内のワイナリー数

令和2年1月1日現在のワイナリー数を都道府県別に集計したものが表42である。全国のワイナリー数は369場であり、前回調査時（平成31年3月31日現在）に対して38場増加している（令和2年3月31日現在における果実酒製造場は488場（令和元年度国税庁統計年報による。）である。）。

都道府県別にみると、上位3地域（山梨県、長野県、北海道）で全体の49.3%を占めている。

表 42 都道府県別のワイナリー数

順位	都道府県	ワイナリー数(場)	順位	都道府県	ワイナリー数(場)	
1	山梨	85	25	群馬	3	
2	長野	55	25	神奈川	3	
3	北海道	42	25	石川	3	
4	山形	17	25	兵庫	3	
5	岩手	11	25	福岡	3	
6	新潟	10	25	熊本	3	
7	岡山	9	31	富山	2	
8	栃木	8	31	岐阜	2	
8	静岡	8	31	三重	2	
8	愛知	8	31	滋賀	2	
8	大阪	8	31	京都	2	
12	青森	7	31	和歌山	2	
12	福島	7	31	山口	2	
12	広島	7	31	愛媛	2	
15	茨城	6	31	高知	2	
15	宮崎	6	40	福井	1	
17	千葉	5	40	徳島	1	
17	大分	5	40	香川	1	
19	宮城	4	40	長崎	1	
19	秋田	4	40	鹿児島	1	
19	埼玉	4	45	奈良	-	
19	東京	4	45	佐賀	-	
19	鳥取	4	45	沖縄	-	
19	島根	4	全	国	計	369

表 43

都道府県別果実酒個別個表の対象者（場）及び回答者（場）数

局名	都道府県別	製造免許場						製造免許者					
		果実酒製造免許場数			実態調査 対象場数	回答 場数	内 日本 ワイン	果実酒製造免許者数			実態調査 対象者数	回答 者数	
		内 試験免許	内 ぶどう原料ワイン の製造又は移出無	場				内 試験免許	内 ぶどう原料ワイン の製造又は移出無	者			
札幌	北海道	56	9	5	42	31	31	49	6	3	40	31	
仙台	青森	17	3	7	7	6	6	14	3	4	7	6	
	岩手	15	1	3	11	9	9	15	1	3	11	9	
	宮城	5	-	1	4	4	4	4	-	-	4	4	
	秋田	8	2	2	4	2	2	8	2	2	4	2	
	山形	19	1	1	17	16	16	19	1	1	17	16	
	福島	9	1	1	7	7	7	9	1	1	7	7	
	計	73	8	15	50	44	44	69	8	11	50	44	
関東信越	茨城	10	3	1	6	5	4	7	1	-	6	5	
	栃木	12	3	1	8	6	5	10	2	1	7	5	
	群馬	7	1	3	3	2	2	7	1	3	3	2	
	埼玉	8	1	3	4	2	2	8	1	3	4	2	
	新潟	17	5	2	10	9	9	16	5	1	10	9	
	長野	72	6	11	55	52	50	60	4	8	48	45	
	計	126	19	21	86	76	72	108	14	16	78	68	
東京	千代田	9	1	3	5	4	1	8	5	2	5	4	
	東京都	16	10	2	4	2	2	40	19	10	11	7	
	山梨	12	6	3	3	3	2	2	-	-	2	2	
	山梨	98	3	10	85	67	63	81	2	6	73	58	
	計	135	20	18	97	76	68	131	22	18	91	71	
金沢	富山	5	1	2	2	1	1	5	1	2	2	1	
	石川	6	3	-	3	1	1	6	3	-	3	1	
	福井	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	計	13	5	2	6	3	3	13	5	2	6	3	
名古屋	岐阜	13	6	5	2	1	1	10	3	5	2	1	
	静岡県	13	3	2	8	7	4	10	1	2	7	6	
	愛知	16	3	5	8	7	3	15	3	4	8	7	
	三重	8	3	3	2	2	2	5	1	2	2	2	
	計	50	15	15	20	17	10	40	8	13	19	16	
大阪	滋賀	4	2	-	2	2	2	3	1	-	2	2	
	京都	8	4	2	2	1	1	7	3	2	2	1	
	大阪府	19	7	4	8	8	7	17	8	3	6	6	
	兵庫県	11	2	6	3	3	1	9	1	5	3	3	
	奈良	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	
	和歌山	8	2	4	2	2	1	8	2	4	2	2	
	計	54	19	18	17	16	12	47	16	16	15	14	
広島	鳥取	9	3	2	4	4	3	8	2	2	4	4	
	島根	9	3	2	4	4	4	8	2	2	4	4	
	岡山	15	5	1	9	8	7	15	6	1	8	7	
	広島	17	6	4	7	6	5	16	5	4	7	6	
	山口	3	1	-	2	1	1	3	1	-	2	1	
	計	53	18	9	26	23	20	50	16	9	25	22	
高松	徳島	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
	香川	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	愛媛	4	2	-	2	2	2	4	2	-	2	2	
	高知	3	1	-	2	2	1	3	1	-	2	2	
	計	12	5	1	6	6	5	12	5	1	6	6	
福岡	福岡	10	5	2	3	2	2	9	4	1	4	2	
	佐賀	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	
	長崎	3	2	-	1	1	1	3	2	-	1	1	
	計	15	9	2	4	3	3	14	8	1	5	3	
熊本	熊本	9	3	3	3	2	2	7	3	2	2	1	
	大分	8	1	2	5	4	4	7	1	1	5	4	
	宮崎	9	3	-	6	3	3	9	3	-	6	3	
	鹿児島	3	-	2	1	-	-	3	-	2	1	1	
	計	29	7	7	15	9	9	26	7	5	14	9	
沖縄	沖縄	7	4	3	-	-	-	6	3	3	-	-	
	全国計	623	138	116	369	304	277	565	118	98	349	287	

- (注) 1 令和2年1月1日現在の製造免許場数及び製造免許者数である。
- 2 他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。
- 3 回答場数及び回答者数は、令和2年酒類業実態調査の、果実酒に係る個別項目について回答があった場（者）の数である。
- 4 「内 日本ワイン」の項目は、回答者のうち、日本ワインの製成数量がある場（者）の数を示している。

(2) ワイン製造業の専門割合

事業者の総売上高に占めるワインの売上高の比率（以下「専門割合」という。）について集計したものが図 17 である。専門割合が 100%の者は 39 者（全体の 13.6%）となった。

ワイン製造業者について、製成数量別に専門割合ごとに事業者数を集計したものが表 44 である。専門割合が 100%の者は全て製成数量が 100kl 未満の事業者となった。

図 17 専門割合別構成比

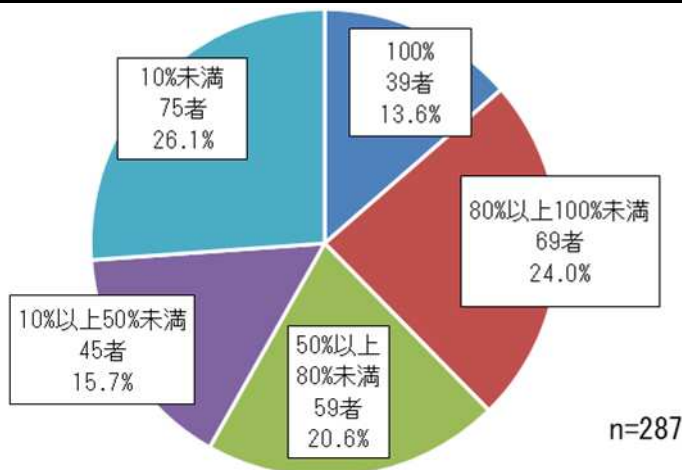


表 44 製成数量規模別の専門割合

製成数量規模	専門割合					合計
	10%未満	10%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	
100kl 未満	68 者	41 者	43 者	51 者	39 者	242 者
100kl 以上 300kl 未満	3	3	10	8	0	24
300kl 以上 1,000kl 未満	2	0	3	8	0	13
1,000kl 以上	2	1	3	2	0	8
合計	75	45	59	69	39	287

(3) ワイン製造業の経営状況

ワイン製造業に係る経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 45 である。ワイン製造者の 48.4%が欠損又は低収益となっている。

また、製成数量が少ない製造者ほど売上高原料費率や売上高販売費・一般管理費率が高い傾向にあり、製成数量が100kl未満の製造者については、全体の営業利益がマイナスとなっている。一方、製成数量が1,000klを超える製造者については、営業利益率が24.5%となっている。

期限付免許者（※）のうち、免許付与後3年までの新規製造者の経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表46である。新規製造者については、売上高原料費率やワインの売上高販売費・一般管理費率が高くなる傾向にあり、新規製造者全体としてはワイン製造業に係る営業利益がマイナスとなっている。

※ 製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、原則として3年間、免許に期限が付与される。

表 45 ワイン製造者の経営状況及びワインの売上状況

項 目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
	者	者	者	者	者
事業者数	287	242	24	13	8
欠損又は低収益事業者数	139	133	3	1	2
割合	48.4%	55.0%	12.5%	7.7%	25.0%
欠損企業	102	96	3	1	2
割合	35.5%	39.7%	12.5%	7.7%	25.0%
低収益企業	37	37	-	-	-
割合	12.9%	15.3%	-	-	-
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	83,152	10,339	6,371	8,430	58,011
日本ワイン	22,551	6,954	5,472	4,061	6,063
製造原価	47,950	6,275	3,470	4,967	33,237
原料費	9,063	2,757	1,234	1,499	3,573
売上総利益	35,202	4,064	2,900	3,463	24,774
販売費・一般管理費	19,897	4,222	2,421	2,683	10,571
営業利益	15,305	△ 158	479	781	14,203
売上高製造原価率	%	%	%	%	%
	57.7	60.7	54.5	58.9	57.3
原料費率	10.9	26.7	19.4	17.8	6.2
売上高売上総利益率	42.3	39.3	45.5	41.1	42.7
売上高販売費・一般管理費率	23.9	40.8	38.0	31.8	18.2
売上高営業利益率	18.4	△ 1.5	7.5	9.3	24.5

(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

表 46 新規製造者の経営状況及びワインの売上状況

項 目	製成数量規模		
	合計	10kl未満	100kl未満
事業者数	者 57	者 44	者 13
欠損又は低収益事業者数	37	29	8
	割合	64.9%	65.9%
	欠損	29	22
	割合	50.9%	50.0%
	低収益	8	7
	割合	14.0%	15.9%
売上高	百万円 364	百万円 206	百万円 158
	日本ワイン	335	182
製造原価	302	155	147
	原料費	132	72
売上総利益	62	51	11
販売費・一般管理費	272	142	130
営業利益	△ 210	△ 91	△ 119
売上高製造原価率	% 83.1	% 75.3	% 93.1
	売上高原料費率	36.2	34.8
売上高売上総利益率	16.9	24.7	6.9
売上高販売費・一般管理費率	74.7	69.1	81.9
売上高営業利益率	△ 57.7	△ 44.4	△ 75.0

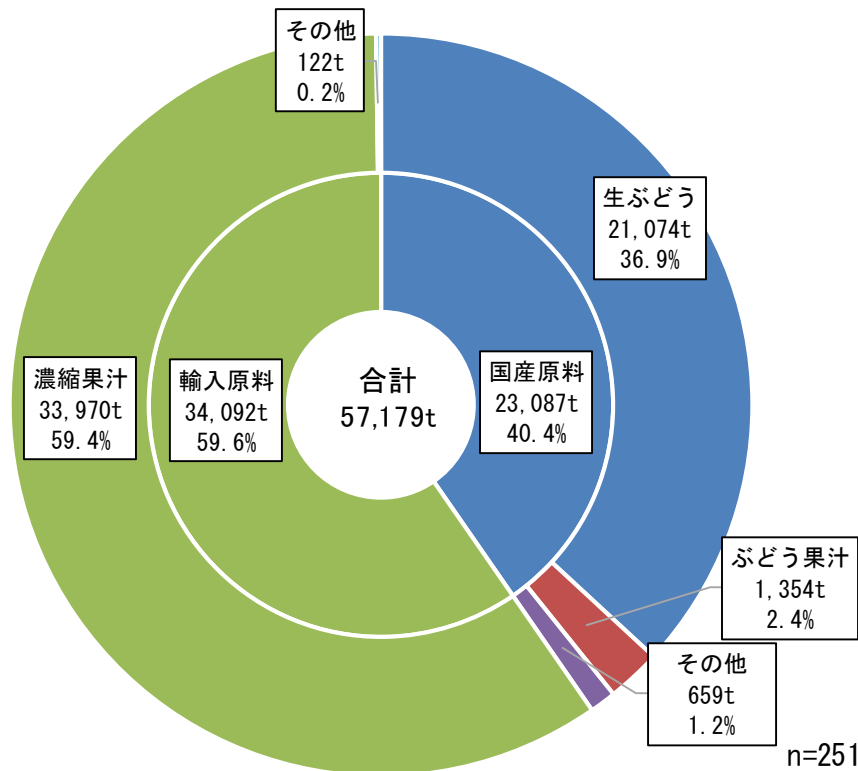
(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

(4) 国内製造ワインの生産及び出荷状況

イ 国内製造ワインの原料について

国内製造ワインの原料を集計したものが図 18 である。ワイン製造に使用された原料のうち、国産原料の割合は 40.4%であった。また、国産の生ぶどうを使用している割合は 36.9%であり、輸入した濃縮果汁を使用している割合は 59.4%となった。

図 18 国内製造ワインの使用原料比

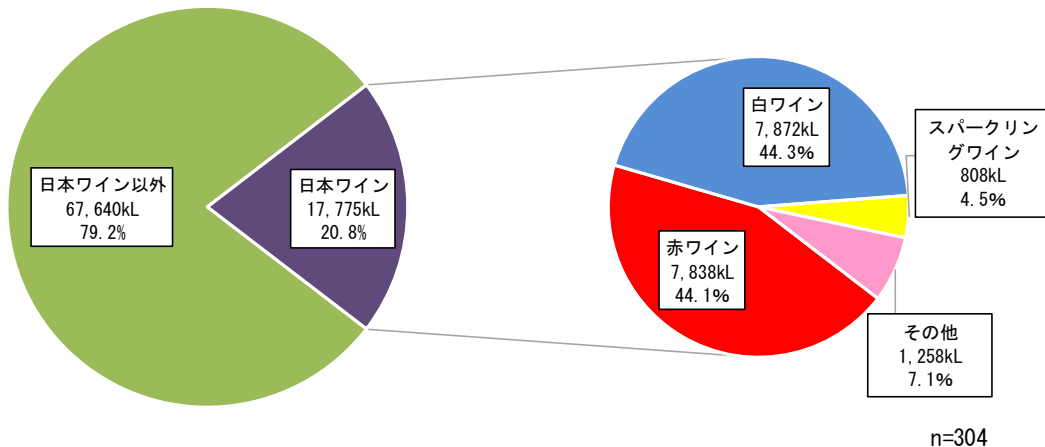


(注) 輸入原料中「その他」には、輸入した生ぶどうが含まれる。

ロ 国内製造ワインの構成比

国内製造ワインについて、日本ワインと日本ワイン以外のワインごとに集計し、さらに日本ワインについて種類別に構成比を集計したものが図 19 である。国内製造ワインのうち日本ワインの製成数量は 20.8%となっている。そのうち、赤ワインと白ワインがそれぞれ 44.1%、44.3%を占めている。

図 19 国内製造ワインの製成数量構成比及び種類別構成比



ハ 日本ワインの製成数量等について

日本ワインについて、都道府県別の製成数量上位3地域とその他の地域に分け集計したものが図20である。上位3地域で日本ワイン製成数量の69.7%を占めている。

日本ワインの製成数量上位3地域について、製成している種類別の構成比を集計すると図21のとおりとなる。山梨県と北海道では白ワインの製成割合が高く、長野県では赤ワインの製成割合が高い。

図20 日本ワイン製成数量上位3地域の構成比

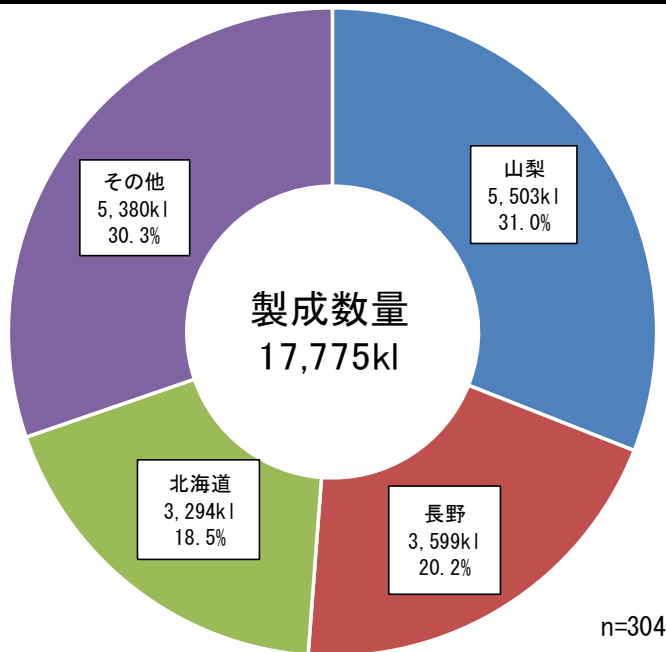
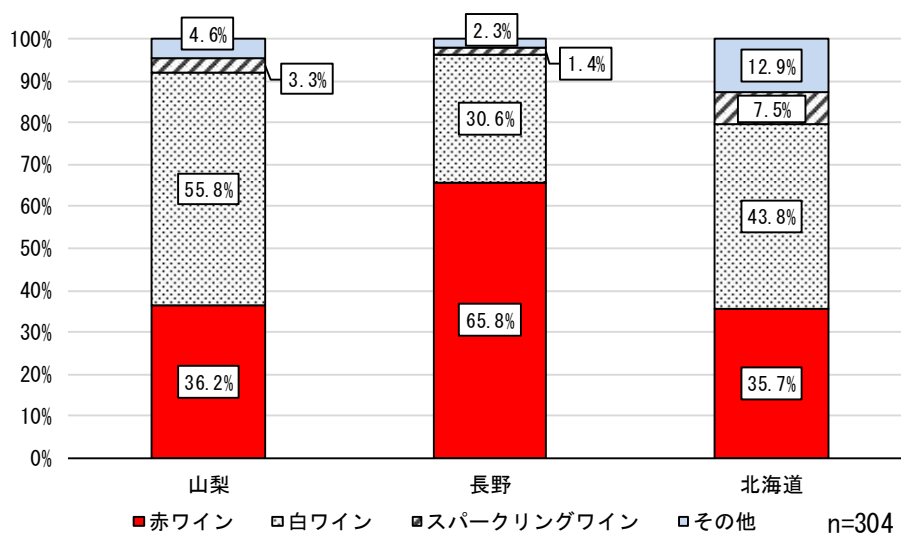


図21 日本ワイン製成数量上位3地域の種類別の製成数量割合



二 国内製造ワインの製成数量等について

国内製造ワインの製成数量及び出荷量について、都道府県別に集計したものが表 47 である。

また、製成数量規模別に使用原料数量等を集計したものが表 48 である。日本ワインについては、主な原料は生ぶどうであり、使用原料全体の 91.4%を占めている。日本ワイン以外のワインについては、使用原料全体の 99.3%が輸入原料であり、そのうち 99.6%が濃縮果汁となっている。

表 47 都道府県別の製成数量及び出荷量

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	製成数量		出荷量	
				内 日本ワイン		内 日本ワイン
札幌	北海道	42 (31)	3,455	3,294	2,692	2,415
仙台	青森	7 (6)	112	76	95	62
	岩手	11 (9)	596	585	596	557
	宮城	4 (4)	X	X	X	X
	秋田	4 (2)	X	X	X	X
	山形	17 (16)	1,416	1,370	1,044	998
	福島	7 (7)	73	62	47	42
	計	50 (44)	2,303	2,194	1,849	1,725
関東信越	茨城	6 (5)	32	29	12	12
	栃木	8 (6)	29,029	281	22,318	221
	群馬	3 (2)	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X
	新潟	10 (9)	515	514	454	450
	長野	55 (52)	4,098	3,599	4,479	3,774
	計	86 (76)	33,769	4,509	27,477	4,549
東京	千葉	5 (4)	82	X	1,614	2
	東京	4 (2)	X	X	X	X
	神奈川	3 (3)	X	X	X	X
	山梨	85 (67)	14,086	5,503	19,705	3,648
	計	97 (76)	39,646	5,534	69,718	3,670
金沢	富山	2 (1)	X	X	X	X
	石川	3 (1)	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X
	計	6 (3)	160	160	128	128
名古屋	岐阜	2 (1)	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	52	50	1,637	68
	愛知	8 (7)	520	20	468	18
	三重	2 (2)	X	X	X	X
	計	20 (17)	579	77	2,112	93
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X
	京都	2 (1)	X	X	X	X
	大阪	8 (8)	189	188	786	216
	兵庫	3 (3)	X	X	X	X
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X
	計	17 (16)	703	591	1,341	661
広島	鳥取	4 (4)	X	X	X	X
	島根	4 (4)	287	287	210	209
	岡山	9 (8)	3,748	391	6,544	358
	広島	7 (6)	156	144	206	114
	山口	2 (1)	X	X	X	X
	計	26 (23)	4,241	872	7,009	731
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X
	愛媛	2 (2)	X	X	X	X
	高知	2 (2)	X	X	X	X
	計	6 (6)	30	24	23	24
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	X	X	X	X
	計	4 (3)	27	27	14	13
熊本	熊本	3 (2)	X	X	X	X
	大分	5 (4)	135	130	130	125
	宮崎	6 (3)	X	X	X	X
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-
	計	15 (9)	501	493	449	443
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-
合計		369 (304)	85,415	17,775	112,812	14,452

表 48 製成数量規模別の使用原料数量、製成数量及び出荷量

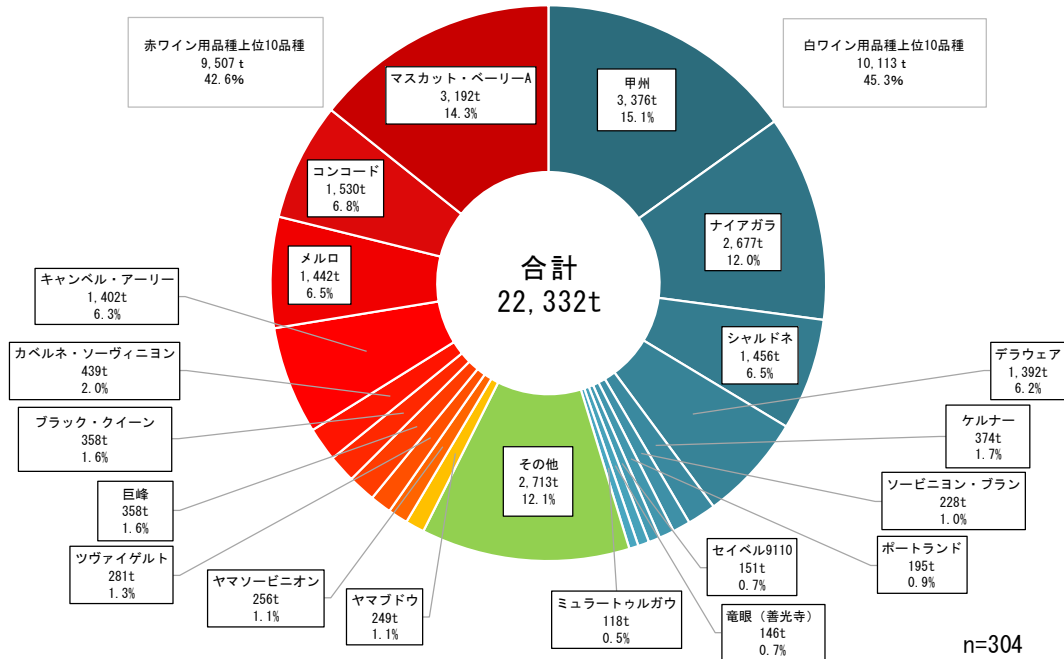
製成数量規模 項目		製成数量規模				
		合計	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上
ワイナリー数		251 ^場	208 ^場	24 ^場	13 ^場	6 ^場
日本 ワイン	使用原料	22,850 ^t	6,651 ^t	4,908 ^t	5,178 ^t	6,113 ^t
	国産原料	22,850	6,651	4,908	5,178	6,113
	生ぶどう	20,962	6,340	4,781	5,120	4,722
	ぶどう果汁	1,313	208	1	8	1,096
	その他	575	104	125	51	295
製成数量		16,525 ^{kl}	3,904 ^{kl}	3,639 ^{kl}	4,089 ^{kl}	4,892 ^{kl}
日本 ワイン 以外	使用原料	34,329 ^t	347 ^t	293 ^t	2,491 ^t	31,198 ^t
	国産原料	237	159	9	16	52
	生ぶどう	112	112	-	-	-
	ぶどう果汁	41	1	-	-	41
	その他	84	47	9	16	11
	輸入原料	34,092	188	284	2,475	31,146
	濃縮果汁	33,970	161	233	2,437	31,139
	生ぶどう	45	7	-	38	-
その他	77	19	51	-	6	
製成数量		38,887 ^{kl}	290 ^{kl}	268 ^{kl}	3,533 ^{kl}	34,795 ^{kl}
輸入数量		26,844 ^{kl}	2,274 ^{kl}	775 ^{kl}	5,023 ^{kl}	18,772 ^{kl}
原料用		10,070	2,239	760	1,121	5,950
販売用		16,774	35	15	3,902	12,822
課税移出数量		82,214	6,542	3,834	5,545	66,294
日本ワイン		13,769	3,978	2,845	2,838	4,106
未納税移出数量		11,441	1,322	1,011	6,546	2,563
日本ワイン		2,188	457	838	703	190

(5) ワイン原料用国産生ぶどうの生産状況について

ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（赤ワイン及び白ワインそれぞれ上位 10 品種）について集計したものが図 22 である。国内で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリーA、白ワイン用では甲州となった。

ワイン原料用生ぶどうの生産量が多い品種について、赤ワイン用及び白ワイン用それぞれ上位 10 品種について、主要生産地域を集計したものが表 49 及び表 50 である。また、ワイン原料用生ぶどうの主要産地（上位 5 地域）について、品種ごとに生産量を集計すると表 51 のとおりとなる。

図 22 ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（赤白上位 10 品種）



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどうの数量を品種別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

表 49 赤ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産数量順位	品種名	地域別生産量順位		1		2		3		他	合計
		1	2	1	2	1	2				
1	マスカット・ベリーA	山梨	1,773t	山形	634t	長野	275t	511t	3,192t		
2	コンコード	長野	1,530t	-	-	-	-	-	1,530t		
3	メルロ	長野	847t	山形	138t	山梨	134t	323t	1,442t		
4	キャンベル・アーリー	北海道	921t	宮崎	176t	岩手	167t	137t	1,402t		
5	カベルネ・ソーヴィニヨン	山梨	108t	長野	106t	山形	91t	135t	439t		
6	ブラック・クイーン	長野	247t	山形	57t	山梨	41t	14t	358t		
7	巨峰	山梨	202t	長野	93t	福岡	14t	50t	358t		
8	ツヴァイゲルト	北海道	252t	岩手	13t	新潟	7t	10t	281t		
9	ヤマソービニオン	山形	87t	石川	76t	長野	28t	65t	256t		
10	ヤマブドウ	岩手	84t	北海道	54t	長野	45t	66t	249t		

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

表 50 白ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産 数量順位	品種名	地域別 生産量順位		1		2		3		他	合計
		州									
1	甲	山梨	3,198t	島根	116t	山形	31t	31t	3,376t		
2	ナイアガラ	北海道	1,186t	長野	995t	山形	313t	184t	2,677t		
3	シャルドネ	長野	492t	山形	252t	兵庫	128t	584t	1,456t		
4	デラウェア	山形	657t	山梨	503t	北海道	72t	160t	1,392t		
5	ケルナー	北海道	335t	長野	17t	新潟	12t	11t	374t		
6	ソービニオン・ブラン	長野	121t	北海道	24t	島根	19t	65t	228t		
7	ポートランド	北海道	188t	岩手	4t	秋田	2t	2t	195t		
8	セイベル 9110	長野	66t	山形	55t	新潟	24t	6t	151t		
9	竜眼（善光寺）	長野	145t	青森	1t	—	—	—	146t		
10	ミュラートウルガウ	北海道	114t	岩手	3t	長野	1t	0t	118t		

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

表 51 主要ぶどう産地（上位5地域）の品種別ぶどう生産量

山梨県 生産量 6,623t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,773	26.8%	甲州	3,198	48.3%	449	6.8%
巨峰	202	3.1%	デラウェア	503	7.6%		
メルロ	134	2.0%	シャルドネ	98	1.5%		
ベリー・アリカントA	110	1.7%	ナイアガラ	27	0.4%		
カベルネ・ソーヴィニオン	108	1.6%	セミヨン	21	0.3%		
計	2,327	35.1%	計	3,847	58.1%	6,623	100.0%

長野県 生産量 5,289t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
コンコード	1,530	28.9%	ナイアガラ	995	18.8%	466	8.8%
メルロ	847	16.0%	シャルドネ	492	9.3%		
マスカット・ベリーA	275	5.2%	竜眼（善光寺）	145	2.7%		
ブラック・クイーン	247	4.7%	ソービニオン・ブラン	121	2.3%		
カベルネ・ソーヴィニオン	106	2.0%	セイベル9110	66	1.3%		
計	3,004	56.8%	計	1,819	34.4%	5,289	100.0%

北海道 生産量 4,350t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	921	21.2%	ナイアガラ	1,186	27.3%	899	20.7%
ツヴァイゲルト	252	5.8%	ケルナー	335	7.7%		
ロンド	138	3.2%	ポートランド	188	4.3%		
山幸	111	2.6%	ミュラートウルガウ	114	2.6%		
ピノ・ノワール	105	2.4%	バッカス	102	2.3%		
計	1,527	35.1%	計	1,924	44.2%	4,350	100.0%

山形県 生産量 2,543t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	634	24.9%	デラウェア	657	25.8%	229	9.0%
メルロ	138	5.4%	ナイアガラ	313	12.3%		
カベルネ・ソーヴィニオン	91	3.6%	シャルドネ	252	9.9%		
ヤマソービニオン	87	3.4%	セイベル9110	55	2.2%		
ブラック・クイーン	57	2.2%	甲州	31	1.2%		
計	1,007	39.6%	計	1,308	51.4%	2,543	100.0%

岩手県 生産量 512t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	167	32.7%	リースリング・リオン	81	15.8%	47	9.2%
ヤマブドウ	84	16.5%	ナイアガラ	74	14.4%		
メルロ	24	4.7%	シャルドネ	5	1.0%		
ツヴァイゲルト	13	2.5%	ポートランド	4	0.7%		
ロースラー	10	1.9%	ミュラートウルガウ	3	0.6%		
計	299	58.3%	計	166	32.5%	512	100.0%

(注) ワインの原料とするために受け入れた品種別のぶどうの数量を産地別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

(6) ワイン原料用国産生ぶどうの栽培状況について

国内におけるワイン原料用生ぶどうの栽培方法について集計したものが図 23 である。棚栽培での生産が全体の 69.7%となった。

棚栽培及び垣根栽培により生産されたワイン原料用生ぶどうの生産量について、赤ワイン及び白ワイン用の品種それぞれ上位 5 種の生産割合を集計したものが図 24 である。棚栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリー A、白ワイン用ではナイアガラであり、垣根栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではメルロ、白ワイン用ではシャルドネとなった。

また、赤ワイン用及び白ワイン用別に、棚栽培及び垣根栽培ごとの生産量が多い上位 5 品種の主要生産地及び生産量を集計すると表 52 のとおりとなる。

図 23 ワイン原料用国産生ぶどうの栽培方法

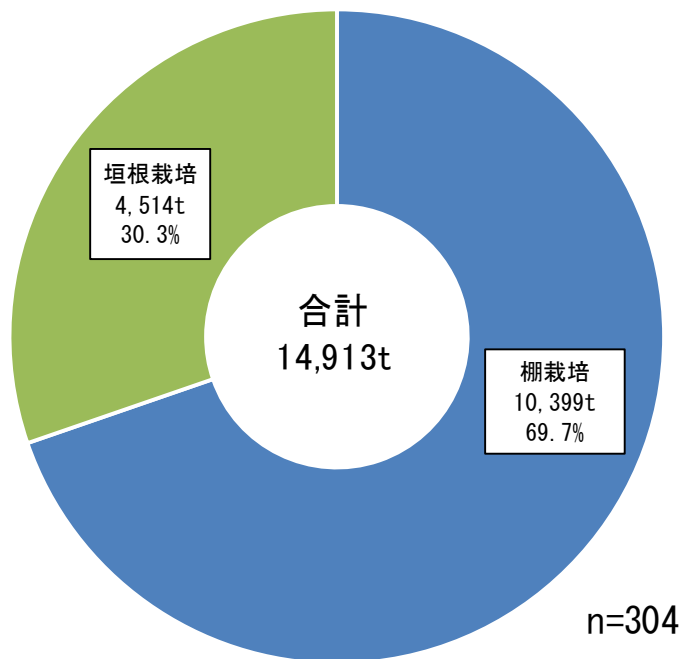
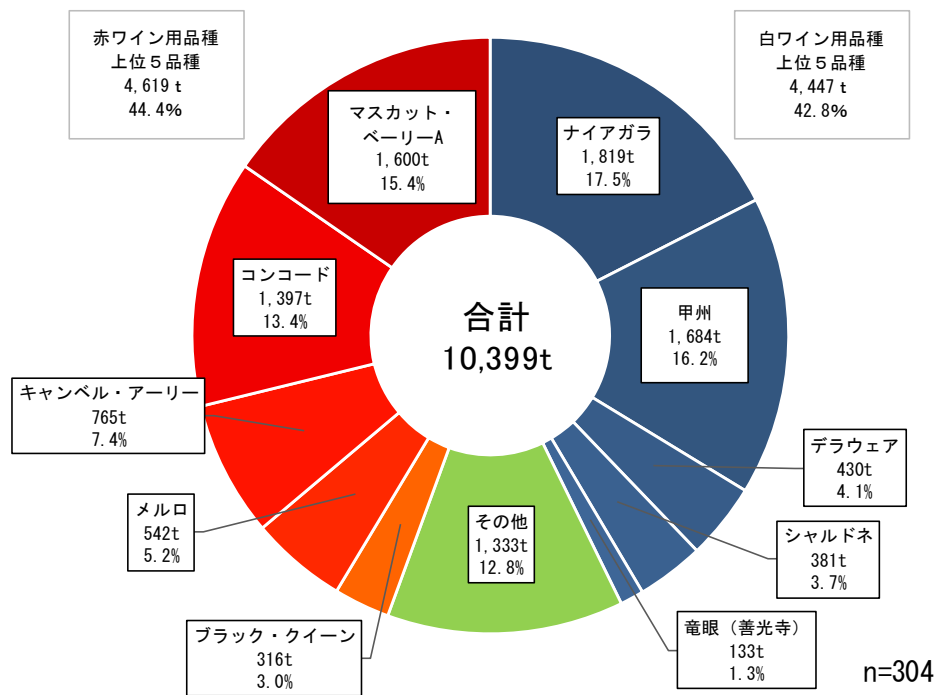
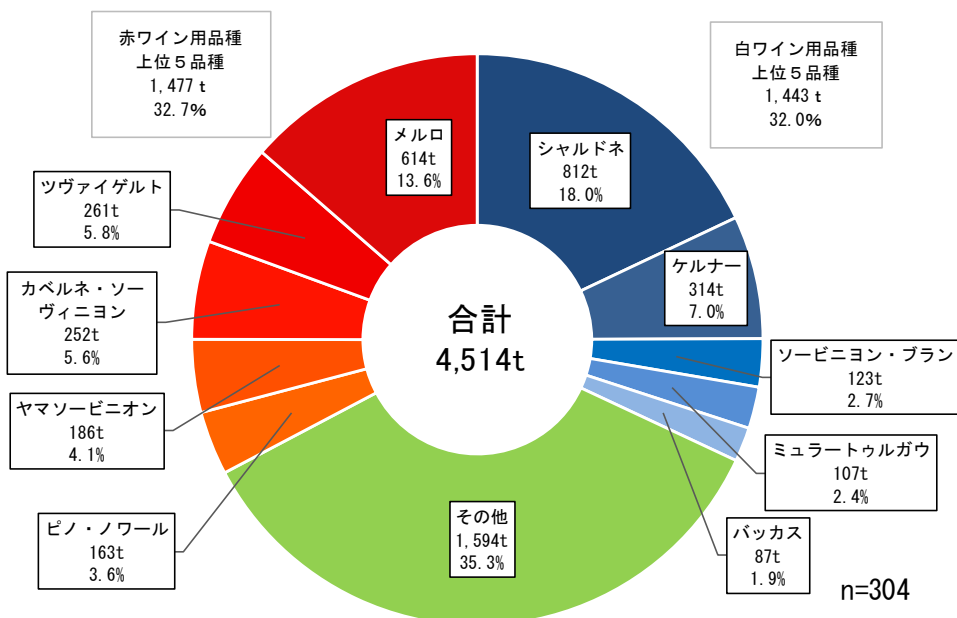


図 24 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別生産割合（赤白上位5種）

【棚栽培】



【垣根栽培】



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を品種別に集計したものである。

表 52 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別主要産地及び生産量（赤白上位5種）

種類	栽培方法	国内生産数量順位	産地別生産量順位 品種名	1		2		3		他	合計
					t		t		t		
赤ワイン用品種	棚栽培	1	マスカット・ベリーA	山梨	716	山形	390	長野	192	301	1,600
		2	コンコード	長野	1,397	-	-	-	-	-	1,397
		3	キャンベル・アーリー	北海道	613	宮崎	111	岩手	33	8	765
		4	メルロ	長野	360	山形	76	山梨	49	57	542
		5	ブラック・クイーン	長野	221	山形	54	山梨	31	11	316
	垣根栽培	1	メルロ	長野	344	兵庫	66	山梨	64	141	614
		2	ツヴァイゲルト	北海道	240	岩手	9	新潟	7	6	261
		3	カベルネ・ソーヴィニオン	長野	85	兵庫	61	山梨	47	59	252
		4	ヤマソービニオン	山形	80	石川	76	福島	11	19	186
		5	ピノ・ノワール	北海道	86	長野	35	青森	12	29	163
白ワイン用品種	棚栽培	1	ナイアガラ	北海道	884	長野	847	大分	34	54	1,819
		2	甲州	山梨	1,521	島根	116	山形	22	24	1,684
		3	デラウェア	山梨	188	山形	120	大阪	67	55	430
		4	シャルドネ	山形	166	福島	53	長野	41	120	381
		5	竜眼（善光寺）	長野	133	-	-	-	-	-	133
	垣根栽培	1	シャルドネ	長野	360	熊本	109	兵庫	99	244	812
		2	ケルナー	北海道	295	新潟	9	長野	6	4	314
		3	ソービニオン・ブラン	長野	87	北海道	15	山梨	5	15	123
		4	ミュラートウルガウ	北海道	103	岩手	3	長野	0	0	107
		5	パツカス	北海道	87	長野	1	-	-	-	87

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を生産地及び品種別に集計したものである。

(7) ワイン原料用国産ぶどうの受入の状況

ワイン原料用生ぶどうの受入形態を集計したものが図 25 である。受入形態として最も多いのは契約栽培であり、全体の 50.6%となった。生産規模別に受入形態を集計したものが表 53 である。生産規模が 100kl 未満の事業者においては自営農園の割合が最も高くなっている。生産規模が 100kl を超える事業者においては、自営農園はほとんどなく、契約栽培や購入の割合が高い。

都道府県別に、ワイン原料用国産ぶどうの品種別受入数量を集計すると表 54、ワイン原料用生ぶどうの品種別に、受入形態と主要産地を集計すると表 55 のとおりとなる。さらに、ワイン原料用生ぶどうの生産量上位 6 地域について、ワイン原料用生ぶどうの生産量及び出荷状況を集計すると表 56 のとおりとなる。

図 25 ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別構成比

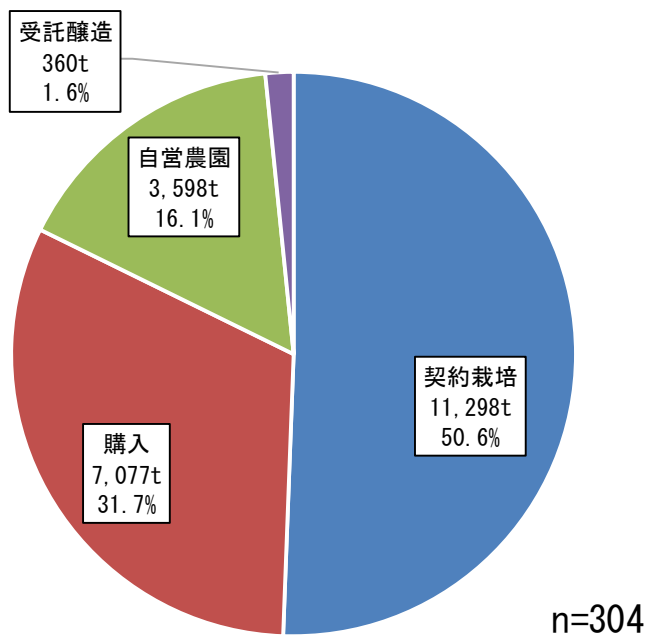


表 53 製成数量規模別のワイン原料用国産生ぶどうの最多受入形態別製造場数

受入形態	製成数量規模				合計
	100kL未満	100kL以上 300kL未満	300kL以上 1,000kL未満	1,000kL以上	
自営農園	85	2	-	-	87
契約栽培	51	18	5	2	76
受託醸造	17	-	-	-	17
購入	71	6	7	4	88
受入なし	20	-	2	1	23
合計	244	26	14	7	291

表 54

都道府県別のワイン原料用国産生ぶどうの品種別受入数量

局所名	都道府県	対象場数 (回答場数)	甲州	マスカット・ ペーリーム	ナイアガラ	コンコード	シャルドネ	メルロ	キャンベル・ アーリー	デラウェア	カベルネ・ ソーヴィニヨン	ケルナー
		t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
札幌	北海道	42 (31)	9	20	1,094	-	77	33	984	193	3	192
仙台	青森	7 (6)	3	2	20	-	1	4	6	-	-	1
	岩手	11 (9)	-	24	107	-	5	24	171	14	5	3
	宮城	4 (4)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	秋田	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	山形	17 (16)	28	555	167	-	168	74	14	405	25	-
	福島	7 (7)	2	16	0	-	8	5	0	2	4	0
	計	50 (44)	49	621	306	-	195	114	190	444	34	4
関東信越	茨城	6 (5)	-	3	-	-	1	2	-	2	0	-
	栃木	8 (6)	58	39	4	-	36	17	2	8	33	53
	群馬	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	新潟	10 (9)	23	197	27	10	77	81	9	42	28	16
	長野	55 (52)	42	335	1,045	1,486	379	665	15	9	87	17
	計	86 (76)	184	609	1,077	1,497	493	767	26	61	149	86
東京	千葉	5 (4)	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	東京	4 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	神奈川	3 (3)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	山梨	85 (67)	2,893	1,423	102	27	238	312	22	423	153	6
	計	97 (76)	2,894	1,428	105	27	244	316	22	452	156	6
金沢	富山	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	石川	3 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	6 (3)	8	68	13	-	23	21	-	4	5	-
名古屋	岐阜	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	29	3	3	-	15	2	-	-	2	-
	愛知	8 (7)	-	7	-	-	3	1	-	4	2	-
	三重	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	20 (17)	29	15	4	-	24	9	-	11	4	-
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	京都	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	大阪	8 (8)	15	44	8	3	19	25	9	102	8	-
	兵庫	3 (3)	-	-	-	-	99	66	-	-	61	-
	奈良	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	17 (16)	15	70	19	3	123	105	14	148	71	0
広島	鳥取	4 (4)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	島根	4 (4)	116	59	-	-	29	24	-	-	5	-
	岡山	9 (8)	65	86	-	3	36	5	4	30	1	85
	広島	7 (6)	-	67	-	-	29	16	-	10	0	-
	山口	2 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	26 (23)	185	241	-	3	98	48	4	41	10	85
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	愛媛	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	高知	2 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	6 (6)	1	7	1	-	1	0	-	7	-	-
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	長崎	1 (1)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	計	4 (3)	-	9	3	-	1	1	4	0	0	0
熊本	熊本	3 (2)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	大分	5 (4)	1	21	34	-	50	18	4	21	-	-
	宮崎	6 (3)	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	15 (9)	2	102	56	-	177	27	157	31	7	-
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国		369 (304)	3,376	3,192	2,677	1,530	1,456	1,442	1,402	1,392	439	374

表 55 ワイン原料用生ぶどう品種別の受入形態の明細及び主要産地

品種名	受入形態									合計	主要産地	
	自営農園			契約栽培			購入	受託醸造	都道府県		数量	
	計	棚	垣根	計	棚	垣根						
マスカット・ベリーA	228	212	16	1,451	1,388	63	1,466	47	3,192	山梨	1,773	
巨峰	22	11	10	63	63	0	267	6	358	山梨	202	
コンコード	191	190	1	1,207	1,207	-	130	1	1,530	長野	1,530	
キャンベル・アーリー	42	32	10	775	733	42	582	2	1,402	北海道	921	
メルロ	473	101	373	683	441	242	258	27	1,442	長野	847	
カベルネ・ソーヴィニオン	152	16	136	193	77	116	82	12	439	山梨	108	
ツヴァイゲルト	52	6	45	223	7	216	5	1	281	北海道	252	
ヤマソービニオン	72	7	66	148	28	121	29	7	256	山形	87	
ヤマブドウ	16	12	4	177	39	138	35	21	249	岩手	84	
セイベル13053 (清見)	9	-	9	71	-	71	22	0	102	北海道	102	
山幸	70	0	69	34	-	34	2	7	112	北海道	111	
ブラック・クイーン	73	72	1	245	245	1	38	2	358	長野	247	
カベルネ・フラン	49	14	35	20	16	3	4	3	76	長野	40	
ピノ・ノワール	118	25	93	73	3	70	20	9	219	北海道	105	
プティ・ヴェルド	37	8	29	5	4	1	0	0	43	山梨	30	
シラー	54	8	46	7	7	1	2	1	64	長野	36	
アジロンダック	1	1	-	66	66	-	20	8	97	山梨	97	
甲斐ノワール	3	3	1	40	39	0	11	1	55	山梨	53	
甲州	199	181	18	1,520	1,503	17	1,601	57	3,376	山梨	3,198	
竜眼 (善光寺)	7	7	0	126	126	-	13	-	146	長野	145	
ナイアガラ	145	140	4	1,686	1,679	7	838	9	2,677	北海道	1,186	
デラウェア	65	64	1	369	366	3	938	20	1,392	山形	657	
シャルドネ	486	96	389	707	285	422	234	29	1,456	長野	492	
ケルナー	52	16	36	303	25	278	18	1	374	北海道	335	
ミュラートウルガウ	40	0	40	67	0	67	11	0	118	北海道	114	
バッカス	26	2	24	71	7	63	6	-	103	北海道	102	
リースリング・リオン	11	3	7	77	19	58	0	-	88	岩手	81	
ソービニオン・ブラン	109	17	92	51	21	30	52	15	228	長野	121	
ピノ・ブラン (ヴァイスブルグンダー)	33	1	32	18	15	3	-	0	51	北海道	24	
ピノ・グリ	18	6	11	2	-	2	1	3	24	北海道	12	
ポートランド	3	1	2	121	116	4	70	2	195	北海道	188	
セイベル9110	5	3	2	121	106	15	26	-	151	長野	66	
セイベル5279	1	-	1	35	-	35	-	-	36	北海道	36	

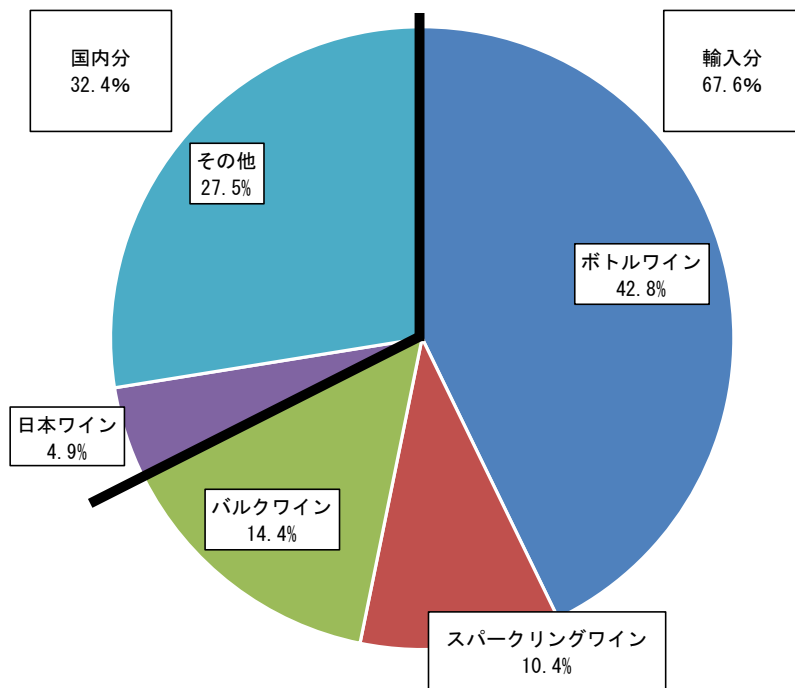
表 56 ワイン原料用生ぶどう生産量上位6地域のワイン原料用国産ぶどう受入状況

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (ぶどう産地別)	自県ワイナリーの 出荷数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーへの 出荷数量	出荷先都道府県										
				長野	山梨	岡山	新潟	栃木	鳥取	石川	北海道	大阪	山形	
山梨県	(100.0%) 6,623	(86.0%) 5,695	(14.0%) 927	140	140	140	103	98	82					
長野県	(100.0%) 5,289	(90.0%) 4,759	(10.0%) 530	357	61	50	21	15						
北海道	(100.0%) 4,350	(91.5%) 3,982	(8.5%) 368	155	118	63	10	10						
山形県	(100.0%) 2,543	(66.3%) 1,686	(33.7%) 857	207	128	100	73	67						
岩手県	(100.0%) 512	(85.7%) 439	(14.3%) 73	30	15	12	9	5						
新潟県	(100.0%) 319	(99.4%) 317	(0.6%) 2	1	1	0	-	-						
全国計	(100.0%) 22,365	(85.3%) 19,072	(14.7%) 3,293											

(8) 国内におけるワインの流通状況

国内市場におけるワインの流通量について、財務省貿易統計及び本調査結果から推計したものが図 26 である。国内流通量に占める輸入ワインの割合が 67.6%となっている。また、日本ワインの流通量は国内流通量の 4.9%となっている。

図 26 国内市場におけるワイン流通量の構成比（令和元年度推計値）

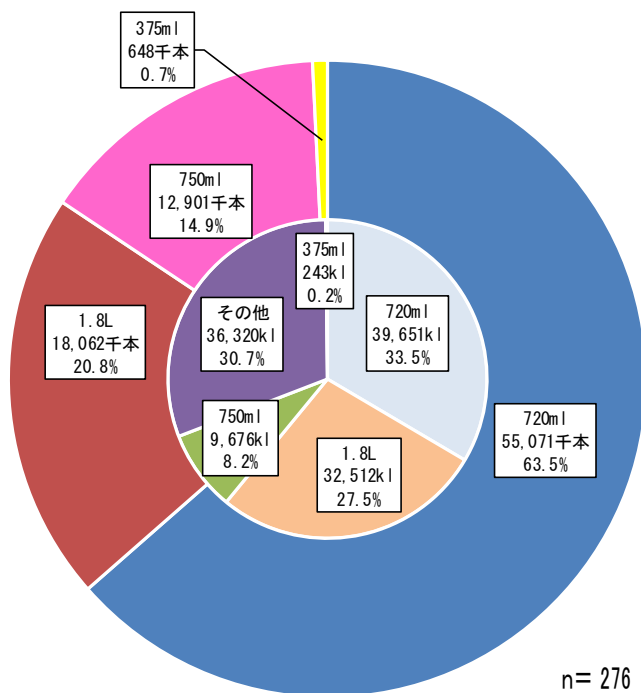


- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、令和元年度国税庁統計年報による果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、令和 2 年酒類業実態調査を基に推計している。

(9) ワインの容器容量別販売状況

国内で製成されたワインについて、容器容量別に集計したものが図 27 である。720ml 容器による販売本数が最も多く、国内販売本数に占める割合は 63.5%であり、国内の販売数量に占める割合は 33.5%となった。

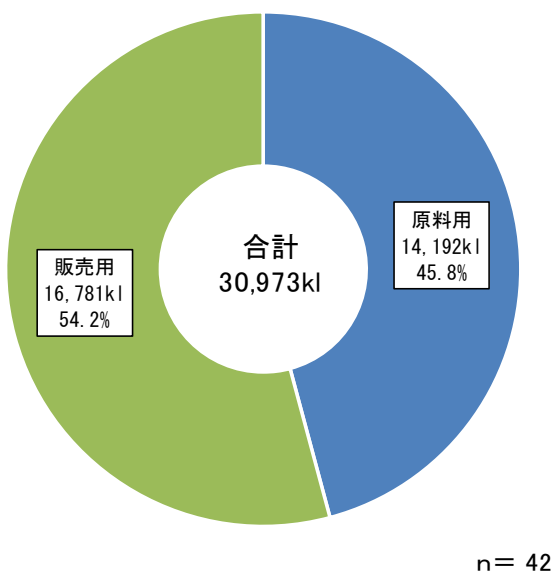
図 27 ワインの容器容量別の販売本数構成比



(10) 外国産ワインの用途別輸入状況

輸入した外国産ワインの用途について集計したものが図 28 である。ワインの原料用が 45.8%、販売用（そのまま販売容器に充填して販売するもの）が 54.2%となった。

図 28 外国産ワインの用途別割合



(11) 果実酒の生産・出荷・消費量の都道府県ランキング

果実酒の製成数量、出荷量及び販売数量を集計し、それぞれ上位 10 都道府県を並べたものが表 57 である。果実酒全体の製成数量は神奈川県が最も多く、内日本ワインについては山梨県の製成数量が最も多くなった。

一人当たりの販売数量については、東京都が 1 位となった他、製成数量が多い産地における販売数量が比較的多い結果となった。

表 57 果実酒の製成数量・出荷量・消費量の上位 10 都道府県

順位	製成数量			出荷量			販売 (消費) 数量	成人 一人当たり
	果実酒	ワイン		果実酒	ワイン			
		日本ワイン	山梨県		日本ワイン	山梨県		
1	神奈川県	栃木県	山梨県	神奈川県	神奈川県	長野県	東京都	東京都
2	栃木県	神奈川県	長野県	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	長野県
4	長野県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	京都府
5	岡山県	岡山県	岩手県	長野県	長野県	岩手県	北海道	和歌山県
6	北海道	北海道	新潟県	大阪府	北海道	新潟県	福岡県	福岡県
7	山形県	山形県	岡山県	北海道	静岡県	岡山県	愛知県	北海道
8	青森県	岩手県	島根県	千葉県	千葉県	栃木県	千葉県	神奈川県
9	千葉県	愛知県	栃木県	静岡県	山形県	大阪府	兵庫県	大阪府
10	広島県	新潟県	大阪府	山形県	大阪府	島根県	静岡県	沖縄県

(参考) ワイン製造業に関する用語について

ワイン製造業について使用している用語の意味は次表のとおりである。

用語	意 味
国内製造ワイン	国内で製造されたワイン
ワイナリー	果実酒の製造免許を有し、ワインを製造している製造場のうち、平成31年1月1日～令和元年12月31日においてワインの生産又は出荷の事績がある製造場
生ぶどう	ぶどうのうち、ぶどう果汁以外の生果のもの
赤ワイン	赤ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
白ワイン	白ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
スパークリングワイン	赤ワイン、白ワイン、ロゼワイン等に関わらず、発泡性のあるもの
その他ワイン	赤ワイン、白ワイン、スパークリングワインに該当しないもの
自営農園	自社栽培、自社管理農場、役員の農園及び関連法人の運営するぶどう農園
契約栽培	農家との契約により原料ぶどうの栽培を委託しているもの
委託醸造	農家等の依頼者から原料ぶどうを受け入れて醸造を行い、その依頼者に製造したワインを引き渡すこと